

## 〈草を活かす〉

8月初旬の炎天下、朦朧としながら頑張ってむしった草は高さ 40 cm、幅 80 cm、長さ 5m くらいの量になった。ブルーシートで覆っておいたら連日の猛暑で草はすぐに枯れて分解が進んでいった。その草を土に埋め肥料として働いてもらうことにした。まずは、埋めるための穴を掘る。たっぷり降った雨のお陰で地中深くまで湿り気があり、スコップで掘るのは骨が折れる。水分を含んでいる分土が重い、加えて、掘るたびにスコップに土がこびりつき手間がかかる。滴り落ちる汗を拭いながら、腰に負担をかけないよう時間をかけてゆっくり穴を掘る。っとその時、掘った穴で何やらうごめくものが!? “オケラ” だ。土の中に隠れていたのだろう、突然スコップで掘り起こされ慌てて出てきたようだ。写真に撮ろうとカメラを取りに行き戻ったら・・・もういない! あっという間に土の中に潜ってしまった。あちこちの土をどけて探したがどこにもいない。写真は諦めて穴掘り作業を続ける。作業開始から 30 分ほど、ようやく掘り終えた穴に枯草を入れ足で踏み固めてから土をかぶせる。9月に入ったとはいえ、かなりの重労働だ。



てしまった。あちこちの土をどけて探したがどこにもいない。写真は諦めて穴掘り作業を続ける。作業開始から 30 分ほど、ようやく掘り終えた穴に枯草を入れ足で踏み固めてから土をかぶせる。9月に入ったとはいえ、かなりの重労働だ。



「畑で生えた草は畑に戻す」、「わら一本の革命」などほど遠いが、草一つも大事な資源と思うと、きちんと土に戻し循環させてやりたい。野菜が大きく丈夫に育つには“土”の存在が欠かせない。その土づくりに一役買ってくれる草、しっかり活かしたい。